土木學會誌

お知らせ(募集)本部

16 第5回木橋技術に関するシンポジウムの開催と論文・報告の募集

行事コード:6006／略称:5回木橋技術シンポジウム

鋼構造委員会・木橋の高度化技術研究小委員会(委員長:平沢秀之函館工業高等専門学校助教授)は、前委員会の木橋技術小委員会が主催した「木橋技術に関するシンポジウム」を引き続き担当します。平成18年度も木橋の材料、設計法、木橋構造、耐久性、維持管理、施工計画、施工事例など多岐にわたる論文・報告を募集して、下記のシンポジウムを開催いたします。本シンポジウムでは、わが国や諸外国の木橋技術の動向等について広く情報を提供する主旨から、論文と報告を区分し、木橋計画や施工事例の報告等も歓迎いたします。ふるって応募してくださるようお願い申し上げます。

- **主　　催**　:　土木学会鋼構造委員会・木橋の高度化技術研究小委員会
- **後　援(予定)**　:　(社)日本建築学会、(社)日本木材加工技術協会、(社)日本木材保存協会、日本木橋協会、日本木材学会
- **日　　時**　:　2006年7月28日(金)
- **会　　場**　:　土木学会「土木会館」2階「講堂」新宿区四谷1丁目(外濠公園内)、JR中央線「四谷駅」下車徒歩3分
- **定　　員**　:　120名
- **参 加 費**　:　有料(未定)。なお、参加費にはシンポジウム論文報告集の代金を含みます。
- **懇 親 会**　:　2006年7月28日(金)18:00から懇親会を予定してします。参加申込み、場所等の詳細は下記の小委員会のホームページをご覧ください。

● シンポジウム参加申込方法

土木学会誌6月号参照。学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内(http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf)の「本部行事参加申込書」に所定の事項(特に行事コード番号)を明記のうえ、研究事業課行事担当宛にFAX(03-3355-5278)でお申込みください。申込書の到着後、10日前後で折り返し「参加券」をお送りいたします。

- **参加申込締切日**　:　2006年7月14日(金)【必着】

● 論文・報告の応募について

(1) 内容:木橋の木質材料、設計法、木橋構造、耐久性、維持管理、施工計画、施工事例など。
(2) 既発表論文の取扱:応募論文は既発表の論文であっても、新たな知見等でまとめ直した内容については応募を可とします。
(3) 応募方法:下記に示すホームページの応募フォームに従って、論文・報告の区分、論文・報告の題目(和文・英文)、連名者を含む著者、所属、要旨

（300字程度）、連絡先（発表者）の氏名、住所、TEL、FAX、E-mailを入力し応募してください。
(4) 応募先：下記の本小委員会のホームページに明記しています。
(5) 応募締切日：2006年3月31日（金）
(6) 掲載の可否：要旨の査読を行います。査読結果に基づき、掲載の可否を文書でお知らせします。
(7) 原稿執筆要領：掲載可の論文・報告に対して原稿執筆要領を連絡先（発表者）にお送りします。
(8) 原稿ページ数：A4用紙で4、6、8のいずれか。
(9) 掲載料：無料
(10)原稿の提出先：掲載可の論文・報告の発表者に原稿の提出先を明記します。
(11)原稿提出締切日：2006年5月31日（水）【必着】
(12)問合先：佐々木貴信（木橋の高度化技術研究小委員会副委員長）
秋田県立大学　木材高度加工研究所
TEL：0185-52-6987／FAX：0185-52-6976
E-mail：taka@iwt.akita-pu.ac.jp
(13)ホームページ：http://www.civil.kumamoto-u.ac.jp/jsce-mokkyo/

←戻る

Copyright 1996-2006 Journal of the Society of Civil Engineers